

今、教区青年会報が面白い!



面白い!

3月誌の全体を彩るイラストは水彩画タッチで、「感謝や祈りは風に乗れ、やがて芽を出し花が咲くというテーマのもとに」とは、イラストを担当した西川百合恵さん(渡島支部)の言葉。

「北海道教区青年會會報」が毎月発行されている。字が小さく、私のような高齢者にはチョットづらいが、カラフル鮮やかな誌面は若者受けに仕上がっている。内容もYYプロジェクト風にYYレポやYYマガジンのお知らせなど、スポットをあてて紹介している。

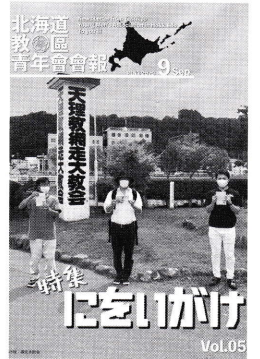


青年会報から

YYマガジンへ

この会報は、昨年の令和2年5月より刊行開始されました。きっかけは新型コロナウイルスが急速に感染拡大し、緊急事態宣言発令など、活動が制限されるようになりまし。その間を待すことなく、活動のPR面を強化すべく開始。

一昨年開催されたYYフェスのメイン会場でイラスト作品の展示・オーダー販売で好評を博した。フェスでは、ひたすら描かれていた姿が印象に残る。インタビュでは、イラストレーター腕は、にいがけにも生かされ、一時期梅田駅(大阪)の歩道橋でポストカードを、教祖のお言葉等も添えて販売したことや、現況、夢など話された。今は幼稚園のイラストや飾り付



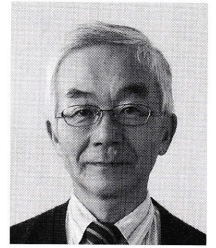
年が明け大望が終刊の運びとなったので、いよいよこの青年會報は4月からリニューアルされる。今後大望読者層等への働きかけは、青年会本部ホームページ上、SNS等から様々な形で配信される。そして教区青年会としては、本部の動きに呼応しつつ、紙面での丹精にも重きを置き、その名も『青年會會報』から『YYマガジン』へ

4月から現在までお試し期間となっているが、大望購読数も読100円

Advertisement for YY magazine featuring 'YYSPACE', 'CHALLENGE!!', 'ANSWER!!!', and 'WHAT'S YYP?!' sections. Includes a crossword puzzle and a QR code for subscription information.

壁を乗り越える

旭川支部長 藤崎 実



まで、やりぬいた。それからは、毎日ガリハビリで、今も不自由な所もあるが、何とか支部主任として、多くの方の協力を得て、務めている。

もう23年にもなるが、平成10年4月、旭川支部婦人会総会のおつとめの最中に、笛を吹いていた家内が突然倒れた。最初は酸欠でフーッとなったのかと思つたが、会場教会の会長さんにおさづけを取り次いで頂いた後救急車で日赤病院に運ばれた。

検査後に医師が言うには、「脳幹出血です。呼吸を司る大事な箇所で出血して、手がつけられませんが、今はお話をしています。状態が、全く安心できない重篤な状態です。危険です。血圧を下げる点滴を打つだけです」と。

足がガクガクと震えた。さあどうしようとなった時に、父が「どうしようもない時は、大教会に日参したらどうか」と、つい先日聞いてきたご近所の教会のご守護の話を聞かせてくれた。

日に6回おさづけをして、見守るしかなかった私の前の壁が、なくなった。

岩見沢の大教会まで100キロ。まだ小学生の子供や信者さんも乗せて、参拝後少しでもひのきしんをして、帰ってきた。たすかる理がなければ、たすからな

いと思つて、1週間、2週間しても家内の寝たきりの状態は変わらないなかつたが、出直してもい

なかつた。そんな時、教区でお会いした先生が「神様へのお供え物を一台増やしたらどうか」と教えて下さった。毎日、三社に一台、生涯、増やすというのはいしたものである。心のつなぎを形にするんだという。3ヵ月経ち次第に家内は不自由ながら動けるようになり、リハビリ病院に移った。

次に聞いたのが、毎日12下りのお願いごとである。眠たがる子供もよく起きて・朝づとめの後、つとめていたが、食事を

やつと、本題に掛かる。コロナの壁をどう乗り越えるか。九州のある会長さんが目の覚める話をしてくれた。「天理教は、つとめとさづけで助かっていく信仰でしよう。さづけができません、つとめです。うちの大教会は、昔から手踊りで助けて頂

いた。病人の枕元で、12下りを日中3座、夜に4座つとめるんです。もう休み無しですよ。私も子供の頃・駆り出された時は、眠りながらつとめましたね。今も不思議な助けがたくさんありますよ」と。

新潟のある先生は、かんろだいづとめ・2万回と言つて、おぢばがえりしたら、とにかく、神殿でおつとめをする。その思い入れの強さ。

私も、真似をしているうちに、自分のものになると言い聞かせて、きれいな手振りを心がけ、つとめている。

新会長さん紹介

(令和2年11月26日お運び)

宗谷支部

知来別分教会(那美岐)

奉告祭

12月5日



菅原新一氏 (54歳)

(令和3年3月26日お運び)

旭川支部

東養分教会(阿羽)

奉告祭

5月15日



須美弘子氏 (76歳)

旭川支部

北鷹分教会(東濃)

奉告祭

6月13日



今井健太氏 (31歳)

(令和3年4月18日お運び)

上川支部

北旭道分教会(名古屋)

奉告祭

7月3日



柴田正慶氏 (45歳)

(令和3年4月26日お運び)

紋別支部

大紋別港分教会(嶽東)

奉告祭

7月11日



森直人氏 (38歳)

けいじばん

◎法律に関わる諸問題でご相談の方は弁護士を紹介致します。教務支庁書記・渡部までご連絡下さい。

◎毎月26日に本部月次祭遙拝式を行なっています

お道の教えはすべてに敵をもたない。また、えこひいきもない公明正大な教えである。

それは親神がすべての人を創造され守護下されている親の存在だからである。

教祖はわかりやすく、お道の教えの中で「反対するのも可愛い我が子。念ずるものは尚の事。なれど心得ちがいは反対同様」と仰せられている。とにかくすべての人にわけへだてなく生存の上に守護下されているが、意義ある喜びの人生は、教えにそって各自が誠の心で生きる事だよと仰せである。

教祖は、ある信仰者が同僚の信仰者の言動が教えに反しているかと心を痛めていた。その姿を見られた教祖は「人が目標か、神が目標か。神さん目標やで」と、端的に戒められたと聞かせて頂いた。これは私達の人生全般にとっても大切な心構えである。

私達人間は不完全であり、不徳の心の人は信仰をしても間違った言動が出てくるものである。だが本当にたすかる信仰は、他人に煩わされる事なく真

実を求める事である。

今より少しさかのぼった頃だが、私達にとってはずっと先輩にあたる偉い信仰者の御夫人がいた。彼女はある教会で人生をたすけられ入信された。その彼女は生かされている生の自覚が生れ、感謝と報恩の念で熱心に信仰されるようになった。

教理随想 三十九 めど 神が目標

木岡 昭

ところが偶然それを見たある人が「彼女はいよいよ困って教会のお米を盗んでいる」と作り話を流したのである。当然その噂は彼女の耳にもやがて入ってきた。しかし、彼女はそう思われても自分の不徳と受けとめ、一切の弁解もなく黙って噂を受け入れて、ただひたすら御恩報に励まれたという。

私はこの話を聞いて感動した。後にこの御夫人は、たくさんの人々をたすけあげられて、実に盛大な教会を設立されたと聞かして頂いた。

私達はお互いに、世の風評や他人の言動に流されて本物を見失ってはならない。ましてや、自分の好き嫌いや、損得で「真実」から逃げたり、曲げたりしては本当の幸せの心は絶対を得られない。教えは、心の道として自分が通った結果を与えられるばかりである。

本当に心澄みきらせるには神を目標とすることである。今日の結構さは心の過保護を産みやすい。こころの過保護は、我欲に流されやすく本物の価値を見失いがちである。

計報

(立教一八四年・令和三年)

- ・東健一郎様 2月17日出直 (81歳)
- ・新幌分教会長 (十勝支部)
- ・矢野良一様 2月23日出直 (83歳)
- ・北夕分教会長 (紋別支部)
- ・松島石子様 2月27日出直 (99歳)
- ・北真栄分教会前会長夫人(千恵広支部)
- ・高橋 廣様 2月27日出直 (92歳)
- ・色内分教会長 (小樽支部)
- ・細木美地生様 3月2日出直 (89歳)
- ・六踏分教会長 (小樽支部)
- ・梶川ユキ様 3月3日出直 (108歳)
- ・峰延分教会前会長夫人 (空知支部)
- ・早坂晴海様 3月4日出直 (94歳)
- ・厚田分教会長 (札幌東支部)
- ・片野道行様 3月16日出直 (86歳)
- ・梅真分教会長 (倶知安支部)
- ・寒河江道明様 3月18日出直 (81歳)
- ・潮見台分教会長 (札幌北西支部)
- ・福井 清様 3月22日出直 (96歳)
- ・富原分教会元会長 (富良野支部)
- ・大脇マサ子様 4月15日出直 (104歳)
- ・三石分教会元夫人 (日高支部)
- ・佐伯邦彦様 4月26日出直 (82歳)
- ・蘭西分教会前会長 (室蘭支部)

北海道教務支庁日誌抄

(令和3年3月1日～5月26日)
3月2日 支部長会議 (リモート)

献血14時

14日 会計小委員会 (リモート)

26日 本部月次祭遙拝式

28日 主事会議 (リモート)
道の教職員
たすけ推進会議

4月1日 (リモート)
2日 支部長会議 (リモート)
3日 青年会会議
4日 中南支部例会
11日 会計部会議
18日 教祖御誕生祭遙拝式
26日 本部月次祭遙拝式
主事会議 (リモート)

5月3日 任命願書発送
5日 視察 北明分教会
6日 〃 名寄 〃
7日 〃 龍白山 〃
8日 事情願書発送
11日 視察 久春内分教会
14日 〃 夕張大教会
26日 主事会議 (リモート)

編集後記

・各種行事が中止や延期となり目標が定まらない昨今です。そんな中青年会誌には、いわばブレークスルー的躍動感を受け、今号で紹介させて頂きました。チラシのように軽く、そして多くの人のもとに届くように。
・新会長さんの紹介、計報等の遅延をお詫び申し上げます。